

会 議 録

| | | | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 会議の名称 | | 第6回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校 開校準備委員会 | | |
| 開催日時 | | 令和5年3月3日（金） 開会 18：30 閉会 20：00 | | |
| 開催場所 | | つくば市役所2階 201会議室 | | |
| 事務局（担当課） | | 教育局 学務課 | | |
| 出席者 | 委員 | 井上拳吾、金子朋子、黒崎徹、本田千鶴、谷池真彦 木ノ内富美代、岡村直之、別府孝泰、松本智加 熊谷みを、関美智子、牧野祐一、谷山友香 | | |
| | 事務局 | 教育施設課課長 鈴木聡、学び推進課参事 久松和則 学務課課長 下田裕久、学務課課長補佐 川又文江 学務課係長 中山美希、学務課主任 工藤麻貴 学務課主任 篠原周平、学務課主事 白土直也 | | |
| 公開・非公開の別 | | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 | 傍聴者数 | 0人 |
| 非公開の場合はその理由 | | | | |
| 議題 | | (1) 校章案デザイン募集結果及び制作について (2) 制服・体操服について | | |
| 会議録署名人 | | | 確定年月日 | 年 月 日 |
| 会議次第 | 1 開会 2 議事 (1) 校章案デザインアンケートについて (2) 制服・体操服について 3 その他 4 閉会 | | | |

<審議内容>

1 開会

事務局：ただいまから第6回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校開校準備委員会を開催いたします。議事に入ります前にお願いをいたします。

本日の委員会は、AIにより議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。このため、大変お手数ですが、ご発言の際は必ずマイクをご使用くださいますようお願いいたします。マイクの下スイッチを押していただき、マイク中央部のランプが青く点灯しましたら使用できますので、よろしくお願いいたします。それではこれより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。

委員長：よろしくお願いいたします。それでは、会議を進行させていただきます。傍聴の方はいらっしゃいますか。

事務局：傍聴人はいません。

委員長：傍聴人はいらっしゃらないようなので議事に入りたいと思います。配布資料の説明をしていただけますか。

事務局：はい、事務局です。まず初めに資料についてご説明させていただこうと思います。資料1をご覧ください。資料1の方はこちら校章案の選定スケジュールの方の案になっております。今回第6回委員会、3月3日金曜日、校章デザインアンケートについて、詳細の方を決定していきたいと思っております。その後アンケートを実施し、3月下旬の第7回委員会で、校章案の決定をしていきたいと想定しております。校章デザインアンケート期間については、大体1週間程度を想定しております。資料の方進みまして、資料2の方ですね。こちらの方を校章デザイナーさん3名の方にご協力いただき、計6点のセットの方を作成していただきました。それぞれ1番から6番まで、小学校と中学校でカラー版とモノクロ版でその下の方にコメントの方を入れさせていただいてます。資料の方進みまして、資料3の方をこちら。校章デザインアンケート用紙の案の方になっております。こちらの方は児童生徒さんに対して、紙でアンケートを取る場合に、こちらのような想定で進めていきたいと思っております。資料4につきましては、制服・体操服選定スケジュールの案になりますので、こちらは2つ目の議事に進ん

だ時に説明させていただきます。今回の1つ目の議事、校章デザインアンケートについてなんですけども、こちらに関してまず初めに、資料2にあった6点のセットでアンケートにかけるかどうか。このまま6セットでアンケートかけていいかっていうのを決めていただければと思います。3月13日月曜日なんですけども、こちらは9年生の卒業式になっておりまして、アンケートの案内文の方を紙で配るために、13日の月曜日より前にアンケートを開始しようと考えています。期間としましては校名案アンケートと同じで1週間程度を想定しております。協議事項として、今回のアンケート対象を今までのものにプラスして、令和5年度の新入学児童及びその保護者に通知するかどうかというのも、協議していただければと思います。もし通知するとなった場合は、学校さんにご協力いただき、スクリレや緊急メールで通知の方をしていただいて、専用フォームで回答していただくような形になります。通知しない場合ですね、これまで校名や校章の公募をしてきたのと同じ範囲で通学区域内の在住者までという形になりましたら、新入学児童のご家庭に関しては通学区域内在住者として、回答していただくこととなります。今回なんですけどもちょっと資料3の方をご準備させていただいたのが、児童生徒さんですね。紙の回答の場合、A4サイズにまとめさせていただきますと資料3のようなサイズ感になってしまい、ちょっと6点詰めるとなると、一つ一つが小さいサイズ感になってしまいますので、事務局としては電子申請での回答っていうのも想定に入れています。紙で回答の場合は資料3で見ていただくと、コメント等長いものがあるのでこちらを短い文章にすることで、サイズの方の微調整自体は可能なんですけどもそれでも、1番、4番のように、一つ一つがまだ小さいと感じるところもありますので、スクリーンの方なんですけども、こちらは研究学園の方で、実際に校章デザインアンケートを児童生徒さんに行った時のものになっています。電子申請であれば、一つ一つの校章自体も実際

に画面を拡大したりして、少し見やすくなりますし、アンケート自体もお子様の名前だったり、学年を入れてもらって、回答していただくという形になります。今まではいばらき電子申請届け出サービスを使っていたんですけども、こちらにスクリーンにありますように、今回は画像の添付の問題で、GoogleForm を利用させていただくことを、電子申請になる場合は想定しています。校章デザインアンケートについては以上になります。議事の進行の方、委員長お願いいたします。

委員長：はい。それではお願いいたします。まず、アンケートについては前回、セットでアンケート取るってということで話をしていたので、この選択肢6個の中から1個選ぶっていう方法でいいんじゃないかと思ったんですけどいかがですか。大丈夫ですか。はい。それでは、イメージとしてはこの資料3のような、6セットの中から1つ選ぶというアンケートのかけ方ということで、やりたいというふうに思います。はい。期日、期間、対象それから方法ですけども、現在の9年生にもアンケートに協力していただくということで3月13日前までに、実施ということで、期間については1週間程度ということ。これもよろしいですよ、期間的なものはね。議論が必要なのは、令和5年度の新入学児童及び保護者に通知するかというところですが。いかがですか。通知しなければ、今まで通りその地域の方というくくりで、自主的に参加していただくということになります。ご意見があれば。通知するってご意見ありますか、通知したほうがいいなっていう。はい、お願いします。

委員：はい、通知できるのであればしてあげた方がいいのかなと、これから先関わってくることなので。はい。してあげた方がいいかなと思います。

委員長：他にございますか。通知してあげた方がいい。これ。新入学児童にも、アンケートをやらしてもらえますか。今の幼稚園生にも、アンケートやらしてもらいますか。それともその保護者ですか。そうしたら、通知はするけど

保護者に取り組んでいただく。ということになりますかね。通知できますよね。新しい一年生の方たちに。メールアドレスを取得してますよね、きっとね。はい。では、みどりのも大丈夫なので、通知は可能ですね。そうしたら、しない方がいいって意見ありますか。それは大丈夫。はい。そうしましたら、令和5年度の新入学児童の保護者に取り組んでもらえるように通知する。その他は、地域にお住まいの方っていうくくりで保護者でない人は主体的にアンケートに答えていただくと。ということになります。地域、保護者については、GoogleFormを利用したアンケートになるんだろうと思うんですけども、子供たちはどうですか。紙、それとも、同様にGoogleForm等を使ったアンケート。学校関係者に聞いた方がいいですかね。ええ。1、2年生も含めて、全部電子で大丈夫ですか。大丈夫だと思いますか。

委員：はい、谷田部南小学校の児童は電子対応で大丈夫かと思えます。

委員：みどりの学園の方なんですけど、電子対応で可だと思えます。1つお願いしたいのが、電子対応で多分拡大したり見ることができるので、低学年の学園生、児童ですね、も読めるようにふりがなと振っていただくとありがたいなと思うんですけど、この説明が書いてあると思うんです。全部読めないかもしれませんが、読もうとした時に、ふりがなが振ってあるっていうことでお願いしたいと思えます。いかがでしょうか。

委員長：説明ですよね。はい、事務局さん大丈夫ですか。

委員：あとはふりがなが可能かどうか、ちょっと要約してもらったりとか。1年生、2年生の子たちでも読める内容で、ふりがな振っていただくことは可能ですか。

事務局：はい、事務局です。今回、2番・3番、5番・6番なんですけども、製作者さんの方から最初にいただいたのが、資料3にあるような形で、長い文章でいただいたんですけども、まず、委員会でもあってちょっと長い

文章で難しい言葉とかも使っていますので、再度ちょっとお願いの方させて
いただいで、小学校低学年でもわかるように、大体 50 字程度でまとめて
もらったような文章の方がありますので、児童生徒さんに関しては、こち
らのちょっと短い方の文章で取らせていただこうと思うんですけども、そ
れでよろしいでしょうか。ふりがなは確か GoogleForm ではできないので、
これが全てひらがなでよければできます。

委員長：中学生は読みづらいついていうんじゃないか。いいですか。お願いいた
します。

委員：はい、先ほど研究学園さんのアンケートにあったように、モチーフとか
何とかがついついていうふうに、すごく簡潔に下の部分の説明がされていたので、
これであればきっと、低学年の子たちも理解しやすいかなとは思いついて
けど。ただ、制作者の方のね、思いがここにこもっていると思うので、な
かなかそれが難しいついついていう場合には、またご検討いただければと思いつ
ます。

委員長：ふりがな振らなくても、読める範囲の漢字で短く端的な説明であれば
多分、低学年の子たちも大丈夫かな。すべてデジタルで行けるように工夫
していただければいいと思いつます。

委員：はい。であれば、この Google のアンケートを 2 パターン作つて、最後の
取りまとめの数が、足し算とかして面倒くさいかもしれないんですけど、
低学年用に全部ひらがなバージョンと、もう大人の高学年用に色んな思い
を書いた文の 2 つのパターンを作るついついていうのは手間だから駄目ですか。

事務局：はい、事務局です。そうしましたら、1 年生から 3 年生、4 年生から
9 年生等で分けさせていただいで、全部ひらがなバージョンと、あと、さ
つき委員長からもあつた簡単な漢字は使わせていただいで高学年用バージョ
ンの児童生徒さんはその 2 つに分けさせていただいで、アンケートを電子
申請で取ることついついていうのは可能です。今、事務局からあつた方法でよろ

しいでしょうか。はい。それでは、振り返りで、アンケートの方法は6セットから1つを選択する方法で、期日についてはその校章選定スケジュール案の通りに進めていただければと思います。

委員長：新入学児童の保護者に取り組んでいただけるような通知は学校から緊急メール等を出す。その他の地域の人たちは、今まで通りの方法で自主的に参加していただくということになります。アンケートについては、すべてデジタルで行い、低学年用の1から3年生用はひらがな、それ以外は、適切な漢字を用いて作っていただくということになりますが、よろしいですか。はい。では議事の1はそれで。はい、お願いします。

委員：校章デザインアンケート用紙の一番上に書いてある、令和6年のところの文言なんですけど、みどりの学園義務教育学校から別れてって書いてあるのでこれだと別れるだけではないので、ちょっとニュアンスが違うかなと思ったので。小学校、要するに前期課程は分かれるけれど後期課程は谷田部南小学校の子たちが入るので、その意味の文言になるようにしていただければお願いします。

事務局：はい、事務局です。かしこまりました。そのように修正させていただきます。

委員長：議事1についてはこれでよろしいですか。大丈夫。はい。それでは2番目の制服・体操服についてですけども、事務局からまず説明をお願いいたします。

事務局：はい、事務局です。それでは、制服・体操服についてということで、こちらに関して前回の委員会では制服と私服についてのメリット・デメリットについて協議の方をしていただきました。まず初めに今後の流れについて資料4について、先ほど説明飛ばしたんですけども、こちらをもとに説明の方をさせていただきたいと思います。こちらの方ですね、制服・体操服を作成する場合のスケジュール案の方になっています。これの一番下

ですね。9月までには、制服・体操服を作成する場合には、最終決定という形になります。理由としましては、ジャケット、スラックス、スカート等、こちらの方を生地の発注の方をしなきゃいけない関係上、9月が最終決定の期日の方になっています。今回、第6回と第7回委員会で制服・体操服の検討してあるんですけども、こちらの案の方は月に1回委員会をするような形での案の方になっています。この後、まず初めに4月までには作成の方針を決定ということで、備考の方入れさせていただいております。こちらの方はその先に6月までに制服及び体操服のコンペ実施という形で、ちょっと区切らせていただいているんですけども、下から見ていただくと、9月までに最終決定するにあたって、メーカーさんに新設校のサンプル作成をしていただく必要がございます、大体そのサンプル作成期間等が1ヶ月とか1ヶ月半程度かかると思います。そのサンプル作成の先に、何点かサンプルを作らせていただいて、アンケートを取ると思うんですけども、そのアンケート期間の確保も必要になってきますし、アンケートが終わって、そこで決定だといいいんですけども、またそこでちょっと微修正等が入る場合はさらに期間の方が必要になることも考えられます。このサンプル作成をするにあたって、6月までには、制服と体操服のコンペ等を実施して、メーカーさんを決定したり、そのサンプルに対しての要望というのを委員会の方から上げていく必要があります。6月までのコンペに対して、もちろんそのコンペに対しても、メーカーの選定方法の検討だったり決定っていうのが必要になりますし、メーカーを選定した後にも、メーカーさんの方でも資料の方の準備であったり、準備であったりがありますので、それでも大体1ヶ月から1ヶ月半とかかかる場合ございますので、そういった形で、下から逆算していくと、最終的に4月までに作成の方針を決定ということになりまして、今回の委員会の方で学校指定のものを作るのであれば、学校指定のものを作るって決めていただいて、次回でそうで

すね、次回の準備委員会の中でその先の方針を決定するのか等またアンケート等を取って、意見の方固めていくのかということになります。こちらの方なんですけども、谷田部中学校とみどりの学園義務教育学校の制服・体操服の写真を参考資料として載せさせていただきました。今回、学校さんに協力いただいて、皆さんの前にあるように、谷田部南小学校と谷田部中学校と、あとみどりの学園の制服・体操服の実物の方をご用意させていただきました。みどりの学園も次年度開校の研究学園も、この案のように学校指定のものを作ることを決定し、コンペ、アンケート等を経て、制服・体操服を決定していきました。ちょっとスクリーンの方に簡単に表でまとめてあるんですけども、谷田部中学校と、こちら制服の方になっているんですけども、谷田部中学校とみどりの学園義務教育学校のように制服を作るってなって、すべて指定のものを作っているような学校もあれば、今回の研究学園の中学校のように、指定のものでも大丈夫ですし、もしくは指定のものと同じ色のようなものであれば認める。もしくは、研究学園ですと学園の森の分離になるので、学園の森で使っていたものっていうのも認める。継続利用を認めたりするなど、幅を持たせて認めるような作り方というのもございます。体操服も同じように、指定のもの、研究学園中学校ですと指定のものに似たものや、前の学校の方も継続して認めたりなどがあります。このように制服・体操服を作成するにあたって、検討することっていうのは多いんですけども、今回の議事で早い段階で学校指定のものとかを作ることが決まれば、スケジュールも少しずつ余裕が出てきて、例えば、そのあとコンペまでの時間の確保ができたりとか、それに伴って良いものを依頼できたりとか、サンプル品に対しても要望できることが増えたりする可能性とかも上がってくるので、このようなスケジュール感で動いていければと思います。最後になんですけども、制服・体操服について、みどりの南の意見募集の方に意見の方が上がりましたので、ご紹介さ

させていただきます。意見内容としましては、みどりの学園との差別化を図るため、登下校時の制服を希望します。特にみどりの中央あたりは、少しの住所の違いでみどりの学園の児童とみどりの南小学校の児童が混在すると思うので、学校が一目で分かるようにするのが望ましいと思います。という意見の方が上がりました。本日の協議の中で、学校の指定のものを作るかどうかというのを協議していただければと思いますので、議事の進行の方は委員長にお願いいたします。

委員長：標準の制服、標準服っていうやつですね。それから標準のジャージって言ったらいいですかね。それを作るか作らないかっていうことですが、その作るか作らないかで議論していると時間が幾らあっても足りないと思うっていうか、それぞれの意見があり、それぞれのデメリットがある。経済的にどっちがいいっていうのははっきりしないと思うんですよね。私服の方がコストが高いのか、制服の方がコストが高いのか。正直に言って、家庭によって違うと思うんですよ。そのかかり方がね。だから私見ですけども、標準服はあった方がいいと思っています。それで幅は持たせるっていうどうせ着るならきちんとしたものを着てもらいたいので、そこに時間をかけて検討の時間をかけたいというふうに考えています。あんまりその生地がペラペラだったり、着ていて何か誇りが持てないっていうか、それだったら日本一の標準服で日本一のジャージのほうが、子供たちにとっては気持ちがいいんだから。いいんだからって決め付けちゃいけないけど、着ていて恥ずかしくなるようなものを着せたくないっていうのは親心です。なので、そういう考えもあるということで、私見としてとらえていただいていいんですけども、意見をお伺いしたいと思います。はい。

委員：途中からみどりの義務教育学校に通っている方が、新しい学校に行くことになるかと思うんですけど、制服をそのままどこまで着ていいのか。もう小さくなったら、新しい制服に替えるのか。その辺の少しの間は混在が

起きると思うんですよね。その幅というか、どこまでその体操服もそうだと思うんですけど、あとはやっぱりみどりのは転入転学いろいろ多いと思うんですよね。なので、その辺のこととか、どうなのかな。とまずそこも知りたいなと質問させてもらいました。

委員長：ここで決めるのかもしれないし、新しい学校の運用で決めていくことかもしれないんだけど。暫定的に移行期みたいのがあるじゃないですか。そこについては、ここで決めちゃってもいいと思うんですよね。それが何年になるかはわからないけれども、この時期は、ここで決めて、出だしから、1、2年とかはここで決めて、その後は、校内で子供たちから出てくれば子供たちと、そこにいる職員、保護者でこう考えていくという形が望ましいと思っているので、出だしの運用をどうするかってことですよ。はい。考えをお聞かせいただければと思います。

委員：今質問させていただいたのは、その制服を決めて、スタートさせようと思っても、前の制服を着てるんだっていうならば、全員が揃わないですし、もう今はジェンダーがありますので、スラックスの女性もいますし、もしかしたらスカート履きたい男性もいるかもしれませんし、その辺がいろいろあるので、私はやっぱり私立ではないので公立なのとか、いろいろ考えて、この間の会議の後からずっと考えていたんですけど。やっぱりジャケットだけを統一するとか、スカートは大まかにチェックにするとか、スラックスもチェックが入っているようであれば、どれでもいいよとか。そういうふうに、こうなんだろう。選択肢、女の子がズボンが履ける選択ができるようにしているように、制服自体もいろいろ選択肢があっても、いいのかなあと、これからの時代いいのかなと思うんですが、どうでしょうか。

委員長：どうですか。標準服、標準の体操着はあっていいということで話は進めていってもよろしいですか。ないほうがいい。私服、スポーツウェアで

も何でも OK というご意見はありますか。それは避ける。はい。標準の制服と言われるもの。標準服、それから標準のジャージは、作っていく。はい。ご意見をいただきながら、業者と相談しながらになると思うんですけど、作ってもらってまたここ直して欲しいとかっていうところを深める方に進めていきたいというふうに考えてもよろしいですか。そしてあとは運用の部分ですよね。はい。いろいろあると思うんですけど、はい、お願いいたします。

委員：はい、小学校で体操服って考えたときに、やっぱり小学校1年生から6年生までって成長の幅がすごくあるので、買い替えの回数も増える。だから保護者の方のご負担は大きいかなと思うんですね。私が以前勤めていた学校の例を挙げると、半袖の半ズボンに指定があったんですけど、それ以外のその上に羽織るものに関しては、自由って感じで、要するに今ここで目の前にある長袖・長ズボンのジャージの指定はないっていうような学校もありましたので、そのあたりもご検討いただければなと思うんですけど、ただ中学校になると多分その大会に参加をするとか、どこかにみんなで出かけるって言った場合には、揃ったものがあってほしいのかなと思うので、体操服についても、標準服があった方が、子供たちもその目印にもなるし、落ち着くのかなっていうふうに思うんですけど。はい。以上です。

委員：みどりのの方のご質問をしたいんですけども、体操服っていうのは、1年生から9年生ってのは共有なんですか。同じデザインのものを使っていると。もしみどりの南に移行したときには、同じような形になるのかなと。というのと、谷田部南小の子は卒業したら使えないけど、みどりの南の子はそのまま中学校でも使えるっていうのは、またそこも、難しいところなのかなっていう。多分体操服なので、すぐ小さくなっちゃうんで、そんなに気にはならないとは思いますが、6年生ぐらいになって、急激に大きくなって買ったけど3ヶ月しか着なかったよ。しょうがないのかなと

思うんですけども、例えば同じ条件で買ったときに、みどりの南の子はそのまま中学校でも使えるっていうのだと、またちょっとそれも難しいのかなっていう。多分おっしゃりたいことはそういうことも含んでいるのかなというふうに思いますし、私自身もちょっと職業柄、制服を着る職業なので、なんですかね。男女、基本的には同じような作りにおいて、そこに選択肢を持つっていう方がいいのかなと今どちらが主流なのかわかたないですけども、男女ともに基本的にはパンツスタイルを基本としておいて、スカートも選べるっていうような形で持っていった方が、今の時代にも合うし、あとはその制服がどうしても混在する期間ってのはあると思うので、そういったところでも、全員が全員、同じ形をしていなければ、そんなに浮く、浮くってことはないと思うんですけども、そういったバランスも取れるのかなというふうに思います。

委員長：はい、お願いします。

委員：先ほどおっしゃったみたいに、みどりのに通っていて新しい学校に行かないといけない保護者の方々は、体操服とかの心配をすごくしていて、体操服って結構、毎日着ますけど、高いんですよ。なので、やっぱり買い替えるのをちょっとやめようかなとかあって、みどりの学園ではこの間、11月5日にお譲り会っていうのをしたんですけど、すごく好評で、やっぱりすぐ小さくなっちゃう、体が大きくなっちゃうので、勿体ないっていうのがあって、なので、ちょっと言われているのはこの準備委員会に出ているんだったら、そのみどりののジャージを使えるようにしてもらったらありがたいよねっていう話がたくさんきていて、そうだな使えたほうがいいなって思うし、先ほどおっしゃったみたいに、南のお子様たちは、デザインは新しいかもしれませんが、みどりのの子たちがたくさん着ている体操服を着るっていうのは、どうなのかなって思うところもあって難しいなって思う部分があります。

委員長：他にございますか。みどりの南は小中同じデザインでいくのであれば、やっぱりそういう問題はある。中学校に行けば、当然買い替えになるので、同じ学校なのにそういう差が出ちゃうっていうことが、もしかしたら谷田部南の方からの保護者からしたら、不満が出る可能性、多分そうなりとやっぱり、みどりのが主体になっちゃうのねっていうような感じ。当然、谷田部南小の人数はもう全然少ないのであれなんですけども、やっぱりそういうふうな思いになる方もいるかなと思ったので、そんな話をしてみました。極端なことを言うと、せーので、みどりの南中のジャージにした方が違和感がないかなということですかね。

委員：そこもまた難しいですよ。基本的には新入生以降については、変えてもらうっていうのが基本なのかなとは思いますが、例えば、どこの部分まで作り込むかわからないですけど、例えば中のTシャツだけは、ちょっとまだ着れるから、少し着ていいですかとか、そのぐらいはちょっと認めていただいてもいいのかなっていう、そういった移行期。当然それが大きくなれば、もう新しいのをどんどん変えて、あと中学校入って、当然新しいのを買ってくとは思いますが、これの間買ったばかりでもったいないからもう1年ぐらい使えるよねとかっていうところをもう少しその移行期として、ジャージに関しては1年ぐらい、制服に関してはおそらく谷田部中から多分南小の方は谷田部中の方から入ってくると思うので、そういったところ。みどりのの子もそうだと思いますし、谷田部中の子もまた特に今度、今の6年生とかは本当1年しか着ないのっていうと、またそれはもったいないので、買い替えの時は新しい制服に変えてください。それまでは移行期として、各学校のを持ちましょう。かつ、新しい制服についても、男性女性問わずパンツ、スカートを選べる。または、ネクタイなのかりボンなのか。それも選べるような形とかでもいいのかなと思いますし。そういった形で少しある程度、移行期中で柔軟な運

用を持ってもらえると嬉しいかなというふうには思いますね。はい。お願いします。

委員：今のお話聞いて、それこそ移行期、大きくなっちゃくなったら買い換えようねっていう話で、スカートは履けるけどジャケットは買わなきゃいけないってなったときに、自分の中で制服が混在するわけですよ。昔のと、新しい制服で。それも認めていただきたいなって思いますね。でないと制服も安いものではないので、もちろん一斉に全部新しくしようっていう方もいらっしゃるかもしれませんが、そういうご家庭ばかりじゃないかと思うので、そういったことも、あるのかなって思います。

委員長：これはやっちゃ駄目ってことはあるんですかね。ないと思うんですけど。これは駄目っていうのを絞り込んだ方が早いんじゃないかなって、思ってた聞いていたんですけど、その駄目っていうのも思いつかないですよ。はい。

委員：もう先ほど、どこかのご意見があったみたいに、ここはここの制服だっでわかるようにしていただきたいっていうご意見があったってことなんですけど。私はそれはどうかなと思うところもあって、逆にその学校だということ狙われることもあると思います。今どき、みどりのの子だから切りつけるとかよくあるじゃないですか。なんかそういう危険性もあるので、はっきり分かれるっていうのはどうなのかな。それこそ家がここからここで、みどりのに行かなきゃいけない、みどりの南に行かなきゃいけない。本当は納得してないのにみどりの南に行かなきゃいけないっていう子もいるのに制服をきちんと分けるっていうのはそこのところはどうなのかなっていう気持ちも意見もあって。だから、何が駄目って言ったら私服は駄目だよ、制服だからねっていうだけにするか、でも、今どき制服学校なくてもそれこそ学校行きたくないっていう理由に制服着たくないっていう方もいらっしゃるかもしれませんが、広く考えていくと、色んなことが出

てくるから難しくて、まとまらないのかなとは思いますが、子供たちが楽しく学校に行けるように、おしゃれじゃないって言われるかもしれませんが、今どきの子はやっぱり制服もおしゃれしていきたいと思うので、学校行くのが楽しいって思えるような洋服を着て楽しく通えるようにしてもらえたらいいなって、一番思います。

委員長：はい。お願いします。

委員：先ほどのその境界線のところで、児童がわかるようにして欲しいって多分意見は例えば防犯だったり、安全面だったり、何か事故があった時にすぐわかるようにとか、何かそういう面も含まれてると思うんですけども、その分けていないといけないっていう問題点はなにかあるのかなと思いました。

委員長：お金の面とか子供たちの移行期の面での制服の切り換えもあるんですけども、何かその切り換えないことによって、何か安全面で交通事故とか、そういう何か問題って出てくるんでしょうか。明確にわからないためのデメリット。はい、お願いします。

委員：特に大きいことはないかもしれませんが先ほどおっしゃられたように、例えば事故等にあったときに、どこの生徒かわかるっていう良さもあると思います。あと、集団でどこか行った時にパッとこうわかる、把握できるという良さもあるかと思います。あとちょっと逆の意味で、たまに学校の方にも通学のことでもクレームをいただくことが近隣からあるんですが、そういうときに、どこどこの学校のお子さんのようなんですがっていうことで、お電話をいただいたりすることもあるので、そういう時は学校がはっきりする理由というのはあるのかもしれませんが。ただちょっと話が戻りますが、やはり本校も、転入学が多くて、令和5年度の新入生の保護者の方からもやはりお問い合わせで、みどりの南の方に行くことになるかもしれないけれども、体操服とかは今買ったなら、新しいものを買って替えなければ

いけないんですかっていうのを問い合わせも何件かいただいております。
この開校準備委員会の方で話し合っているのですが、はっきりとは申し上げられませんが、学校としては買ったものを使うことには特に問題はないと考えていますっていうふうにお返事をさせていただいております。以上です。

委員長：事務局さんお願いします。

事務局：事務局です。まず1点目として、継続使用については今までどの新しい学校でも継続使用するようにしていたと思います。その中で、期限はなしです。というのは、やっぱり先ほど言ったように、高い物ですから、買ったばかりで1年後ですよ、2年後ですよ。お兄ちゃんが使っていてまだ使えるけど1年しか使えないっていうことになってしまうこともあると思うので、どの学校も継続使用を認めていたけど、期限は設けていなかったと思います。ただ、継続使用の中で先ほど、着れなくなったとか破けたとか、何かのタイミングで買ってもらいましょうかっていうことであっても、誰かが買ったら、あの子が買ったから私も欲しいってなって早まることもあるんじゃないかと思いますが、それは家庭毎の判断になると思います。それと、今見てもらっている研究学園ですけども、先ほど前のものってのは当然継続使用できますけど、研究学園はあくまでも指定というより標準服なんですね。それで、この中で完全指定はネクタイとリボンはこちらを買ってくださいと。ジャケットとパンツとスカートについては、これちょっと見にくいんですけど、同系色のものであれば良いということにしています。それと、ワイシャツも白とかいろんな色、何種類かっていう形とかを設けることにしていますので、そのパターンで取り組むのであれば、先ほどの意見で他の学校と違うものがわかるようにはありましたが、それってすごくイメージされてしまうのが、完全に上下全部が、ガラッと違えば確かにわかりますけど、当然お金はかかります。ネクタイとリボンだけを指定して、違うものにすれば、それだけでも多分違うように見えるかどうか

けど、やっぱりどれかを考えなきゃいけないと思うんですよね。新しいものの、良いものを着せてあげたいけど経済的負担もかかるっていうところがあるので、その中で妥協する部分を考えていっていただく。今までやってきた流れでは、最初に業者さんを呼びます。コンペのときには今まで作ってきてもらっている他で納品しているものを持ってきてもらって、目の前で皆さんに見てもらって、生地とか触りながら、その中で今度、アンケートを子供たちから取りながら、会社を選ぶ。選ばれた会社が新しい学校に見合った服を3つ程度作ってきます。それを学校に出したりして、物を見ながらみんなで決めていただくっていうのが今までの流れなんですけども、ちょっと今回違う点は、みどりのの時もそうなんですけど、学校が2つあります。1校であったならば、マネキンをずっと置いたままでみんな見てもらってことができますけど、業者がマネキンを2つ持ってこれればいいんですけど、持ってこれない場合はどっちかの学校に先に1週間とか置いて、次の学校はまた1週間置くという部分で、ちょっと時間取らなきゃいけないと思うんですよね。そういう部分で時間がなくなりますので、そこも含めて一番最後にある程度、3つとか作ってもらったものを1つに絞った後に時間があれば、例えば細部にもうちょっとライン入れてくださいとか、ここ変えられますかっていうお話ができますけども、時間がないと決まった1点をそのままオーダーしなきゃいけないっていうことにはなりませんので、今、私服ではなくて制服を作るっていうことの形でいきますので、その中で、完全な全部指定のものっていうのを作るのか。いや、標準服っていう形で作るか。その場合には例えば、先ほどいろんな幅、新しいカタチということで標準服を設定するのであれば、幅を持たせて、今ワイシャツでも谷田部は、白地にみどりのストライプですよね。みどりのはそういうストライプじゃありませんので、ワイシャツについては何パターンでもいいですよっていう形にするようにすれば、幅も持たせることもで

きると思いますし、それに合うような形のジャケットにすれば幾らでもできると思うので、いろんなパターンもあると思いますので、ちょっと検討してもらえればと思います。

委員長：余りにも幅が広すぎて、どう検討していいかわかんないですけど、もう混在する期間が結構長いんですよ。きっとね。もう雑談でしゃべっちゃうんですけど、谷田部中のものも着ているし、谷田部中のものを崩した感じのものを着ている場合もあるし、みどりのものを着ている場合もあるし、みどりのと谷田部が一緒になっている人ももしかしているかもしれないけど、それは何ら問題ないと私は思うんですけど。標準服はあるよ。標準服あるけど、そういういろんな混在したものが、なくなるのは何年先かわからないけど、それは許しておいて、最終的には、標準服的なものをみんなが着ている。はい。そうこうしているうちに私服がいいって中学生が言い始めるかもしれないけど、それはわからないので。標準服はあるんだけど、様々なコーディネートがありますよ、谷田部中、みどりののコーディネートがありますよっていうのが、あんまり縛らなくていいのかなっていうふうに思います。あとはジャケットだけにするのか、ジャケットパンツを標準服にするのかは検討しなきゃいけないと思います。あと負担をかけないんだったらもうワイシャツは、無地とかポロシャツもいいよ、無地ならとかっていうふうなぐらいの縛りにして、ジャケット羽織っていればいいよみたいな感じになるのもいいかもしれませんねと思っています。体操服は部活動の地域移行とかスポーツクラブ化っていうことを考えると、こだわらなくてもいいっていうか、結局最終的にみどりの地域のスポーツクラブになるんじゃないかと思うんですよ。そうするとみどりの地域のスポーツクラブのウェアを着ることになるから、標準のジャージはあるけど、それをむちゃくちゃその差別化するとか、同じようにするとかってあんま考えなくてよくて、一般的に汎用性が高くて、そこら辺のユニクロに行っ

ても似たようなものがあるぐらいなイメージのジャージでいいのかなって自分はもう思ってしまう。そしてそのジャージは、なるべく早く購入できるようにして、例えばもう11月ぐらいに購入できるようにして、谷田部南小の小学生の服が小さくなったら早い段階からもうそれを買って着られるようにしておけば、何ヶ月しか着ないということが起きないのではないかというふうに思います。最終的には新しくできる学園のジャージになるんですかね。みどりのにこだわる必要ないですよ。新しくできる学園のジャージになる。はい。

委員：新しくできる学校は小学生も中学生も小学校も体操服は一緒ですか。

委員長：いや、先ほど別にそれはまだわかんないんだけど。そこはもうまず小学校一緒にするんであれば、そこもまた議論の1つなのかなと思います。みどりの南の小学校と中学校それと谷田部南小もですよ。同じ学園だから。例えば、洞峰学園って、谷田部東中の洞峰って書いてあるジャージを小学生も着ている。なるべく早く南小の子たちが、新しい中学校のジャージを着られるようにしとけばそんなにみどりの学園がそのまま着てるのに、みたいな感覚は持たなくて済むってことですかね。

委員：そうですね。ある程度移行期までも、先ほど言っていた通り、逆に小学校の時に中学校のを買ってでもいいよって話であれば、それはそれでもいいのかな。もうあと3ヶ月ぐらいだから中学校のを買ってしまおうってというのが小学校の方がOKであれば、例えばそういう方法もありますね。そうしたら早いうちに切り換えできるかもしれないですよ。親は着ろって言っても、子供としたら、周りと一緒にの方がいいよっていかもしれないし、でもそれだったら小学校のうちの2ヶ月間ぐらいだったら我慢してもらって、中学校のを着て、移行するっていう方が良いのかも。そういう選択肢を取っていただくっていう方がもしかしたらいいのかもしれないですね。そういう問題は起こり得るかなとは思いますが、おそらくそこ

まで細かいこと言う人いないんじゃないかなとは思いますが、万が一こうなった時にやっぱりどうしても少数なので、例えばジャージをもう1回着させてもいいけども、やっぱり多数の中にぼつぼつといるとすごい目立ちちゃうだろうし、そう考えると、もし早く買っていいよっていう選択肢が増えるのであれば、全然そういった方でも構わないのかなと思いますね。

委員長：はい、お願いします。

委員：ただ新しく、真新しいデザインで、南中学校だけの体操服を決定するのであれば、早くには買えないですよ。ですけど、この現行のみどりのの使っている体操服を基盤に、ここのロゴだけを変えるっていうのであれば、でも変えないか。今の話だと私の中では理解できなかったのが、何か新しいのを作らなくて、今あるみどりのの体操服を基盤にお話が進んでいたのかなって私は取ってしまって、新しくできる小学校と中学校の体操服は一緒にするのかっていうお話で今のは。私が聞きたかったのは、新しい小中学校は、同じジャージにするのでしょうか。

委員長：谷田部南から来る人は永遠にそういうことになるんだよね。はい、お願いします。

事務局：多分今のお話って、仮に新しく作りますよね、例えばみどりの南小のジャージを例えばこれにしました。中学校もこれですってなった場合に、何年か経った時に、お兄ちゃんお姉ちゃんが中学校でこれを使っていて、下の子が中学に上がる時にそれをみどりの南小学生はこれを使えるわけですよ。だけど、谷田部南小の卒業生はお兄ちゃんたちがこれを使ってたってということがない限りはお下がりがなく、新たに買わなきゃいけないわけですよ。みどりの南小も当然、兄弟がいないかは、中学校で小学校の時は小さくなったときには当然買い替えるとは思いますが、使えらなくなっていけば、買い替えなくて、ある程度着れていくけど、谷田部

南小は中学校が違うジャージなので、買い替えなきゃいけないってことですよね。それがあって、小と中学校を同じにするんですかっていうことですよね。別にすれば、みどりの南の小学校のお子さんも中学校に入るときは買わなきゃいけない。谷田部南小のお子さんも、中学校に入るときには買わなきゃいけない。別でなければ、みどりの南小のおさんは、ひょっとすると、中学校も同じジャージなので買わなくて済む場合も出てきます。

委員長：片方に負担がかかっちゃう。それだったら、みどりの南中学校は、みどりの南中学校のジャージで、みどりの南小学校の人たちはまた別のジャージってなると何か負担増な感じがしますよね、お互いに。そうしたら、新しくできる学園の人たちはみんな同じジャージってすれば、谷田部南小学校が今度新しくジャージを買う子はそれを買ってねってだんだんと新しい学園のジャージになっていくっていうこともできるかもしれないけど、せっかくあるからね。どうしたらいいかわかりません。はい。

事務局：多分新しいのを谷田部南小は買ってでもいいよってなったときに、一番最初、新しい学校のを作りました。今使っているものも使っていていいですっていうのは、ある程度年数が過ぎると、例えば開校して2年か3年後には、みどりの南小中は新しいジャージになると思うんですよね。みどりの学園の使っている子がいないけど、谷田部南小はこのジャージをずっと使っていると、中学校の小学校の終わりから使ってもいいよってなると、混在するのがずっと続くわけですよね、谷田部南小は。新しい学校の混在はなくなります。谷田部南小の混在はなくなるということにはなりません。

委員長：難しいね。

委員：それであれば、移行期はちょっとある程度長く持った上で、学園として小中合わせるような形で行った方がいいのではないかなと。そういう方がお互いフェアですし、その移行期に関しては、谷田部南は谷田部南で、多分みどりのから来られる方は、そのジャージをしばらく着るっていうのも

全然ありますし、当然それ、上の子が使ったら、まだ使えるから使っていくっていうのも、当面は認めて、ある程度学園っていう形で整えていった方が何かフェアですし、じゃなくてもう中学校からどっちも同じ。南小ももしかしたら、名前の入れ方とかはちょっと別としても、何とか学園っていう形で作ってしまえば、お互いに中学校に上がっても、同じものをそのまま着ていけますし、デザインの変更もないのでそれで学園としての一体感ももしかしたら出るのかもしれないですね。それの方が。ただ当然移行期はしばらく混在してる期間は結構あるけど、はい。

委員長：今度買うときはそれでっていうふうにしていくと谷田部南小も新しい小中学校も、長く着られる事にはなるんだけどそういう考え方もある。

事務局：はい、事務局です。多分今、この場で皆さんいろんな意見が出てきて、ぱっと初めて聞いたものですからあれこれってなるので、時間が足らなくなると思います。今までのお話をまとめさせていただくと、制服は作るっていうことでよろしいのかなって思います。次回に作るものは上から下まで全部指定っていうものを作るのか。研究学園みたく、同じようなものでもいいですよってするかどうかっていうことを、次回にここでそれを決めるのか。いや、ここに書いてある通り、みんなでアンケート取って、どうしたらいいかって決めるかを今日決まらないようであれば次回にどうするかを決めていただいて、その時にこのジャージについても、皆さんに持ち帰っていただいてよく考えて、次回決めていただくっていうことでもいいのかなど。制服については、例えば先ほどワイシャツなんかは、幅を持たせたときに、前、研究学園とか春日でも出てきたんですけど、式典だけは見栄えっていう感じで、みんなが揃った方がいいっていうことで、式典用にだけ用意して普段はどれでもいいですよってにするのかっていうこともあります。そういうのも次回でいいと思いますので、今日中に決められるのであれば、ここだけで決めて、全部指定しかないっていうパターンにす

るのか、これが見本なのでそのまま買ってもらってもいいし、これに準じたものっていうのをここで決めるか、みんな決めるかっていうのを今日決めるか、決められないので次回でみんなで決めるのか次回アンケートということにするかは、今日、決めていただいて、話し合っていた方が多分もう幾ら時間あっても皆さんの意見があるので。

委員長：1つに収束しないから、ちょっと考えといてもらって。考えといてもらって、次回標準服はどこまでを標準服とするのかっていうことですよね。はい。標準服はどこまでを標準服にするのかっていうことと、体操服の件は小中別か、学園で同じか、そのジャージは半袖、ハーフパンツだけにするのか、それとも半袖、ハーフパンツ、上下のジャージくらいまでにしまうのかということを決めたいと思いますので考えてきていただければと思います。それでよろしいでしょうか。はい。意見をお願いします。

委員：やっぱりこの中でも、やっぱりいろんな案いろんな意見があると思うので、まず関わってくれば保護者の方たちにまずアンケートとってある程度なんかいろんな意見を吸い上げてからここでまとめてあげた方がいいのかなっていう部分もあります。いろんな意見がある中でまた決めて、またその件でアンケートを降ろして、またアンケートで納得いかない人たちって結構多分いると思うんですね。だからまず、みんなからどんな感じの疑問を持っているのかとか、不安なところとか、何かいろんなのを、こんなところに周りの人たちはちょっと不安なってるのかなとかっていうのを吸い上げてから、ここでちょっとまとめてあげたほうがいいのかなどは思うんですけど。そういうアンケートって可能ですか。

事務局：はい、事務局です。今のお話は、資料4ちょっと見ていただいていいですか。次の2段目、3月下旬ってなっているので、今お話あったのは、次の3月から4月って書いてあるところに、アンケート実施ってあります

よね。このアンケート実施がこれになると思います。やるとすれば。なので、次回の時に先ほど話した通り、ここで決めるのか、今言ったアンケートをやりたいってするのを決めていただく。アンケートってなれば、下のアンケート実施ってところで、対象は保護者さんか、お子さんなのかちょっとそれは皆さんで決めていただいて、アンケートをやって、結果をまとめたものをもとに、次の4段目ですね、4月の時にその結果を見てですね、標準って決めるのか、標準はどこまでっていう意見に決めるかっていうことなので、そうすると、誰までアンケートをやるかっていうのと、アンケートの選択項目ですよ、どういう項目にするかって考えないといけないのかなと思います。そうすると次回、先ほど言ったように、標準服と言われるものの幅と体操服と言われるものの幅をここで検討して、それを質問紙に載せるっていうような流れになるかなって思います。どっちにしろだから、次回は、そういった具体的なことについてここで議論して、1つにまとめて、それで、それをもとにアンケート取るかどうかもそこで決めればいいかなというふうに思います。

委員：よろしいでしょうか。2点ほどあるんですけど、次回やるのはそのアンケートのどんなアンケート取るのかっていう内容を事前に考えてくるっていうことでいいですねまず1つは。

委員長：そうですね、制服ジャージの幅をどうお考えなのかっていうことを、はい、持ってきていただくと助かります。

委員：わかりました。ありがとうございます。あともう1つは、先ほどの事務局様の方からのあった、この時間軸で、後半の方に余裕を持たせた方がいろいろ、生地とか検討できるっていうふうにあったんですけども、もし、この次回アンケートを取った場合に、今のこの出してもらったこの資料4のスケジュール通りに進めば、余裕はまだ持っているということでしょうか。それともこれでも結構きつめな方なんでしょうか。

事務局：はい、事務局です。今の併せてお話ししますね。次回なんですけど、今回はこの2段目のところですので、まずアンケートをやりたいていう方については、こういう項目があった方がいいっていうのを考えてきていただく。いやアンケートやらないで委員会で決めちゃいたいていう人であれば、アンケートを考えてくる必要はないですよ。そこがまず次回ですね。アンケートやった場合にはこの右側の列でいきますので、今の時間軸のままここでいくと問題はそのメーカーのコンペなんですけど、体操服と制服なので、研究学園の時は2日取ったんですよ。1日でやるっていうことになる、ちょっと夜だけではできないので、昼間から通してやるとかしないと、ちょっとやはりその皆さんも持ってきてもらったものを触ったり何だかんだ質問したりっていう時間を取ると1社で30分、40分取ってしまう。3社、4社来ると、それで体操服と制服の両方でそれだけいきますので、両方で6社、7社来た場合には、今皆さんが何社呼んで欲しいっていうことによるんですけど、3社ずつっていうと6社来ますよね。6社で1つ30分、40分取ると、その分の時間も必要になるので、当然夜からっていうと、もうちょっと早めに始めないと、それでも体操服だけ制服だけっていうふうになってしまう。ということでまずそこで時間が取られません。それでアンケートがなくて次回ここで決めてしまうってことになれば、左のパターンですので、左をちょっと上に上げて早く時間をするっていうことで、取るかどうかなんです。最終的に9月までに決めてもらいたいのは、ジャケットとパンツとスラックスの大まかな生地です。多分ネクタイとかリボンとか、細部のものについては少し時間余裕はあるとは思いますが、ただそれもデザイン性の問題が出てきますので、外観のものが決まらないと、そっちのが影響しますよね。そこである程度は時間、本当にやっぱり10人、20人の世界じゃないので、千人単位とかでの生地を確保しなきゃいけないですから。体操服になると、小と中もし同じってこと

になれば、それだけの数を確保しなきゃいけないのでそれは、基本的に、この開校する学校とかが、ここだけじゃなくて、全国的に全部同じなので、どこも生地は同じなんです。そのメーカーさんのやっぱり発注の問題が出てきてしまうので、ここが本当にぎりぎりですからそこだけはちょっと守るしかないのそこでやっぱり考えてもらって、先ほど話した通り、マネキンを一体しか持ってこれないと時間もかかるので、そこで時間取られてしまいますから。そういう時間がちょっといろいろかかる部分が出てきますので、その辺でメーカーさんに持ってきてもらって、これでいいですって皆さん直ぐに納得するのは多分難しい部分がありますので、もう1回持ってきてくださいっていうとまた時間かけなきゃいけない。メーカーさんが制作にかかる時間があるので、今までもそうなんですけど、コンペやるときに、例えば3社呼びます。呼ぶメーカーさんには新しい学校のものを作ってきてもらわないですけど、決まったメーカーさんは次、新しい学校のを作ってきてもらいますよってもう前もって一応言っておくので、その分時間短縮して、選ばれたメーカーさんすぐ作れるように準備だけしてくるので、早くは来ますけども、やっぱりその作った後に皆さんが修正してくださいってなると、そこで時間かかる部分もあります。あとちょっと補足させてもらおうと、制服って高いですよ。メーカーさんはこの3つとか最初に決まったメーカーさんが、新しい学校のを持ってくるときには、当然、価格を全部出しますので、皆さんでもうちょっと安くしてとか、もっと他にできるんですかっていうこともお伝えはできます。ただそこはあくまでメーカー希望小売価格ですので、皆さんが買うときには、ある程度もうちょっと下がった金額にはなるとお思いますので、その辺、先ほどの標準服とか決めるときも、金額が全部皆さんである程度は融通が利くことも踏まえてどうするか。全部作った時に金額は大変なことになってしまうので、金額はメーカーさんと交渉するようなことはできます。ただそれはさ

つき委員長から言われましたけど、良いものを作りたいってなれば、価格は上がります。ジャケットで毛が80%とか、90%であれば1着3万円とかいきます。竹園東中学校ってジャケットだけなんですけど、すごく高いです。それは良いものを使ってるので。3万円とか、2万円は超えていくような話です。価格を下げるのであれば、当然、毛が少なくなるとかというものになってきますけど、昔と違うので家でも洗えるものとか、いろんな素材のものが出てきます。それはメーカーさんが特徴あるものを伝えていきますので、その時に皆さんがこういうものもいい、この価格より下げるにはどうなるのっていうことをお話してもらえばいいんですけど、それは先のことだと思います。まずは次回、どうするかってのよく皆さん考えていただいて、時間があれば、他の保護者さんの意見も参考にしながら、例えばさっき言ったように、私たちもちょっといろんな知りたいこうしたいっていう意見があればアンケートするとかできると思うので、いろんな意見聞いてきてもらいながら次回、決めていただいた方がこのスケジュール感でなるべくこういきたいなと思いますので、ご協力いただきたいなと思います。

委員長：そうですね。できる範囲で情報を集めていただいて、次回の会議にかけて、どうしてもそこで、いやここじゃ決めかねるよ、アンケートってなる可能性もあるけど、できる限り急いてもしょうがないけど、はい。このスケジュールでいければいいと思いますので、情報を集める。そして、標準服の幅、それから体操服の幅をある程度ここで納得できるような形で話を次回で進められればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。じゃあ議事は終わっても大丈夫ですか。終わりです。

事務局：はい、事務局です。委員長議事の進行ありがとうございました。もしましたら、最後ですね、次の第7回委員会の日程なんですけどもこちらの3月の下旬を想定しております。3月月末だと結構先生方とか、もし異

動とかっていうと大変になってしまうと思うので一番は遅くても3月29日の水曜日とか、28日火曜日ぐらい。27か28だったら、どちらがいいとかございますでしょうか。3月のその27、28の週にするか、もう一週早めて、金曜日、次回ちょっと会議室の方は違うところになるんですけども28日としまして、開催方法は、対面でよろしいですか。大丈夫であれば、対面にしたいと思います。時間はまた18時半からでよろしいでしょうか。スタートは6時半で変えずに行きたいと思います。ではこれにて第6回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校開校準備委員会を終了したいと思います。皆さん遅くまでありがとうございました。

4 閉会